

重積症の1治験例。第199回北陸外科学会，1984，9，金沢。

97) 霜田光義，小田切治世，吉田真佐人，島崎邦彦，山田 明，宗像周二，坂本 隆，麓 耕平，田近貞克，真保 俊，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：残胃癌の治療経験，第53回日本消化器病学会北陸地方会，1984，6，福井。

98) 沢田石 勝，田沢賢次，鈴木康将，笠木徳三，永瀬敏明，坂本 隆，佐伯俊雄，竹森 繁，中村 潔，真保 俊，唐木芳昭，藤巻雅夫：アゾキシメタン(ACM)による大腸腫瘍発生における免疫賦活剤LEMの影響。第21回大腸癌研究会，1984，7，前橋。

99) 沢田石 勝，真保 俊，唐木芳昭，斎藤光和，宗像周二，田沢賢次，藤巻雅夫：ヒト食道癌培養細胞のマイトマイシンCによる超微形態学的変化。第2回ヒト細胞研究会，1984，8，東京。

100) 沢田石 勝，斎藤光和，中村 潔，山田 明，小田切治世，榎渕統一，宗像周二，坂本 隆，麓 耕平，真保 俊，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：食道腺様嚢胞癌の電顕的観察。第16回日本臨床電子顕微鏡学会総会，1984，9，大阪。

101) 沢田石 勝，真保 俊，斎藤光和，小田切治世，宗像周二，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫：ヒト食道癌培養細胞のマイトマイシンCによる超微形態学的変化。第43回日本癌学会，1984，10，福岡。

102) 広川慎一郎，藤田敏雄，永瀬敏明，清水哲朗，麓 耕平，伊藤 博，藤巻雅夫：腐蝕性食道狭窄症の1例。第198回北陸外科学会，1984，6，富山。

103) 斎藤光和，唐木芳昭，宗像周二，沢田石勝，佐伯俊雄，笠木徳三，榎渕統一，永瀬敏明，真保 俊，田辺貞克，阿部要一，田沢賢次，伊藤 博，藤巻雅夫，玉置哲也：広範な転移を来たした甲状腺髄様癌の1例，第3回北陸頭頸部腫瘍懇話会，1984，7，金沢。

104) 斎藤光和，真保 俊，小田切治世，加藤博，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫，落合 宏，中川明夫，庭山清八郎：培養ヒト食道癌の増殖におよぼすレクチンの影響について。第2回ヒト細胞研究会，1984，8，東京。

105) 斎藤光和，落合 宏，中川明夫，庭山清八郎，真保 俊，唐木芳昭，藤巻雅夫：培養ヒト食道癌細胞の増殖におよぼすレクチンおよびインフルエンザウイルスHAの影響について。第21回日本細菌学会中部支部総会，1984，11，名古屋。

106) 坪田孝文，山本克弥，新井英樹，吉田真佐

人，笠木徳三，永瀬敏明，坂本 隆，真保 俊，唐木芳昭，田沢賢次，伊藤 博，藤巻雅夫：仙骨前に発生した巨大な Dermoid cyst の1治験例。第218回新潟外科集団会，1984，4，新潟。

107) 山本克弥，笠木徳三，山田 明，唐木芳昭，田沢賢次，伊藤 博，藤巻雅夫，小林次雄，長谷川 詮：画像上多発生ポリープ様病変を呈したリンパ濾胞性胆嚢炎の1例。第55回日本消化器病学会北陸地方会，1984，12，金沢。

108) 川口 誠，竹森 繁，小田切治世，笠木徳三，永瀬敏明，真保 俊，唐木芳昭，田沢賢次，伊藤 博，藤巻雅夫：S状結腸軸捻症の1治験例。第199回北陸外科学会，1984，9，金沢。

109) 肥田高嶺，川口 誠，若木邦彦，小泉富美朝，増田信二，北川正信，加藤義治，山田 均，辻陽雄：慢性関節リウマチに合併した悪性リンパ腫の1例。第11回新潟造血器腫瘍研究会，1984，12，新潟。

110) 榎原年宏，笠木徳三，増山喜一，新井英樹，佐伯俊雄，桐山誠一，唐木芳昭，田沢賢次，藤巻雅夫，森田 英，藤倉信一郎，若木邦彦：浅い潰瘍の多発をみた Intestinal Behçet の1例。第199回北陸外科学会，1984，9，金沢。

## 脳神経外科学

教 授	高 久	晃
助 教	遠 藤	俊 郎
講 師	岡 伸	夫
助 手	堀 江	幸 男
助 手	中 田	潤 一
助 手	岩 井	良 成
助 手	新 井	研 治
助 手	杉 田	毅
助 手	大 森	友 明
技 官	中 山	八州男

### ◆ 原 著

1) 遠藤俊郎，新井研治，岡 伸夫，甲州啓二，高久 晃：血栓化巨大前交通動脈瘤の2手術例。第12回脳卒中の外科研究会講演集 273—276，にゅーろん社，1984。

2) 大石 光，西嶋美和春，小川 彰，吉本高志，鈴木二郎：モニターによる脳梗塞の抑制CTおよび組織像による実験的研究。脳神経外科 12：153—158，1984。

3) 岩井良成，堀江幸男，西嶋美和春，岡 伸夫，

塚本栄治：眼窩静脈撮影後に自然治癒を示した外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の1例。脳神経外科 12：199—203, 1984.

4) 遠藤俊郎, 高久 晃：脳血管攣縮と交感神経。脳卒中 6：62—65, 1984.

5) Nishijima M., Kamiyama K., Oka N., Endo S., Takaku A：Electrothrombosis of spontaneous carotid-cavernous fistula by copper needle insertion. Neurosurgery 14：400—405, 1984.

6) 山谷和正, 西嶋美和春, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃：動脈硬化を伴わない内頸および眼動脈の視神経圧迫による小児一側性視野障害の1例。脳神経外科 12：961—966, 1984.

7) 大辻常男, 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃：脳動脈瘤を併発した頭蓋内クリプトコッカス肉芽腫の1例。Neurologia medico-chirurgia 24：628—631, 1984.

8) 鈴木倫保, 関 博文, 新妻 博, 鈴木二郎, 高久 晃：乳児一側内頸動脈閉塞に伴う unilateral hydrocephalus の1例。小児の脳神経 9：239—242, 1984.

#### ◆ 総 説

1) 高久 晃, 遠藤俊郎：動静脈奇形。clinical neuroscience 2：1103—1107, 1984.

#### ◆ 学会報告

1) Ono T., Nishijo H., Nishino H., Fukuda M., Sasaki K., Yamatani K：Amygdala neuron response to complex visual stimuli in monkey. 第7回神経科学学術集会, 1984, 1, 千葉.

2) 大辻常男, 山谷和正, 栗本昌紀, 西嶋美和春, 遠藤俊郎, 高久 晃：脳室腹腔短絡術に Tension pneumocephalus を呈した1例。第11回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 3, 名古屋.

3) 西条寿夫, 小野武年, 西野仁雄, 福田正治, 山谷和正, 佐々木和夫：サル扁桃体ニューロン活動と複合感覚応答。第61回日本生理学会総会, 1984, 3, 群馬.

4) 新井研治, 岡 伸夫, 本 敦文, 遠藤俊郎, 高久 晃, 泉海一：Bromocriptine 療法により髄液鼻漏をきたした prolactinoma の1例。第11回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 3, 名古屋.

5) 甲州啓二, 遠藤俊郎, 高久 晃, 齊藤建夫：Peltier Stack を利用した電極による連続的局所脳血流測定を試み。第25回日本神経学会総会, 1984, 5, 札幌.

6) 本 敦文, 甲州啓二, 中田潤一, 遠藤俊郎,

高久 晃：興味あるCT所見を示した脳幹脳炎と思われる1例。第12回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 6, 松本.

7) 齊藤哲現, 福田 修, 西嶋美和春, 岡 伸夫, 高久 晃：小脳中部に発生した海綿状血管腫の1例。第12回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 6, 松本.

8) 遠藤俊郎, 大辻常男, 平島 豊, 西嶋美和春, 高久 晃, 神山和世：頸部内頸動脈高度狭窄および完全閉塞例の臨床像について—急性期非手術例50例の検討—。北日本脳神経外科連合会第8回学術集会, 6, 新潟.

9) 栗本昌紀, 遠藤俊郎, 新井研治, 中田潤一, 岡 伸夫, 高久 晃：大動脈炎症候群に脳動脈瘤と高血圧性脳内出血を合併した1例。北日本脳神経外科連合会第8回学術集会, 1984, 6, 新潟.

10) 平島 豊, 本 敦文, 遠藤俊郎, 高久 晃：虚血脳 PI-specific phospholipaseC 活性に及ぼす FO-1561の影響。FO-1561第2回基礎研究会, 1984, 6, 東京.

11) 遠藤俊郎, 高久 晃：頸部内頸動脈高位狭窄病変に対する血栓内膜切除術。第6回血管手術懇話会, 1984, 7, 金沢.

12) 遠藤俊郎：CEA. 第3回 The Mt. Fuji Workshop on CVD 主題脳虚血性病変の治療と予防, 1984, 8, 静岡.

13) 原田 淳, 齊藤哲現, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃：頭蓋底部脳瘤の1例。第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

14) Oka N., Nakada J., Endo S., Takaku A：Angioarchitecture in experimental hydrocephalus. 12th Scientific meeting of international society for pediatric neurosurgery, 1984, 9, Cairo.

15) 神山和世, 岡 伸夫, 高久 晃：老人性脳室拡大例における dementia score と ischemic score の検討。厚生省特定疾患「難治性水頭症」第1回班会議, 1984, 10, 神戸.

16) 平島 豊, 本 敦文, 遠藤俊郎, 高久 晃：虚血脳におけるリン脂質代謝関連酵素の変化。第27回脳循環代謝研究会指定発言, 1984, 10, 東京.

17) 中村泰久, 遠藤俊郎：眼窩側壁開窓術における皮切部位の検討。第2回眼腫瘍研究会, 1984, 10, 京都.

18) 山谷和正, 西条寿夫, 福田正治, 西野仁雄, 小野武年, 高久 晃：サル前頭野ニューロン活動と学習行動。第31回生理学会中部談話会, 1984, 10,

山梨

19) 堀江幸男, 新井研治, 栗本昌紀, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃, 黒木登志夫: ヒト小脳血管芽腫由来培養細胞の性状. 第43回日本脳神経外科学会総会, 1984, 10, 千葉.

20) 平島 豊, 本 敦文, 岡 伸夫, 杉田 毅, 遠藤俊郎, 高久 晃: 虚血脳 PI-specific phospholipase C 活性に及ぼす S-Adenyl-L-Methionine (SAMe) の影響. 第43回日本脳神経外科学会総会, 1984, 10, 千葉.

21) 遠藤俊郎, 神山和世, 大辻常男, 岡 伸夫, 塚本栄治, 高久 晃: 頸部内頸動脈高度狭窄例に対する急性期血栓内膜切除術. 第43回日本脳神経外科学会総会, 1984, 10, 千葉.

22) 遠藤俊郎: 頸部内頸動脈血栓内膜剝離術. 東北大学慶応大学 Joint ビデオカンファレンス, 1984, 10, 仙台.

23) Hirashima Y., Moto A., Endo S., Takaku A: The activities of PI-specific phospholipase C and lipase in ischemic rat brain, 6th international symposium on brain edema 1984, 11, Tokyo.

24) Hirashima Y: The activities of phospholipase A, lysophospholipase, PI-specific phospholipase C, lipase and acyl CoA lysophospholipid acyltransferase in ischemic rat brain. Sendai Forum'84 1984, 11, Hanamaki.

25) 小野武年, 山谷和正, 西野仁雄, 福田正治, 西条寿夫: 前頭野ニューロンの刺激内容応答性. 第8回神経科学学術集会, 1984, 11, 大阪.

26) 大井政芳, 平島 豊, 岡 伸夫, 中田潤一, 高久 晃: VP shunt 術後の metrizamide CT 脳槽撮影で遷延性意識障害をきたした1例. 第13回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 12, 名古屋.

27) 野上予人, 齊藤哲現, 岡 伸夫, 遠藤俊郎, 高久 晃: 頭蓋内動眼神経鞘腫の1例. 第13回日本脳神経外科学会中部地方会, 1984, 12, 名古屋.

◆ その他

1) 高久 晃: 小児の脳血管性障害. 関西脳神経外科懇話会, 1984, 4, 大阪.

2) 遠藤俊郎, 平島 豊, 本 敦文, 高久 晃: 脳血管障害と生体防御反応. 生体防御講演会, 1984, 10, 富山.

3) 遠藤俊郎: めまいとその周辺. 新湊市射水郡医師会合同研修会, 1984, 11, 富山.

# 整 形 外 科 学

教 授	辻 陽	雄 雄
助 教	玉 置	哲 也
講 師	伊 藤	達 雄
講 師	館 崎	慎 一 郎
助 手	山 田	均 治
助 手	加 藤	義 治
助 手	海 木	玄 郷
助 手	高 野	治 雄
助 手	松 井	寿 夫
助 手	清 水	美 恵 子
文部技官	佐 野	明 美

◆ 著 書

1) 辻 陽雄: 脊椎の発生. 「新臨床整形外科全書, 5-A」天児民和監, 1-8, 金原出版, 1984.

2) 辻 陽雄: 硬膜内および硬膜外腫瘍. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 129-143, 金原出版, 1984.

3) 辻 陽雄: クモ膜炎. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 173-174, 金原出版, 1984.

4) 辻 陽雄: 硬膜外癒着. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 175, 金原出版, 1984.

5) 辻 陽雄: 硬膜外血腫(出血) 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 176, 金原出版, 1984.

6) 辻 陽雄: 硬膜外膿瘍. 「新臨床整形外科全書, 5-B」天児民和監, 177, 金原出版, 1984.

7) 辻 陽雄: いわゆる腰痛症. 「今日の治療指針」26, 527-528, 医学書院, 1984.

8) 辻 陽雄: 脊髄腫瘍とその周辺疾患. 「整形外科診療図譜」山本 真他編, 296-307, 金原出版, 1984.

9) 玉置哲也: (脊椎疾患) 診断総論——臨床検査—— 「新臨床整形外科全書, 5-A」天児民和監, 80-94, 金原出版, 1984.

10) 玉置哲也: 脊髄誘発電位とその応用. 「図説臨床整形外科講座」池田亀夫他監, 68-71, メジカルビュー社, 1984.

11) Tamaki T., Noguchi H., Takano H., Tsuji H., and Dincer M. D.: The effects of hypovolemic hypotension and hypoxia on the jeopardized spinal cord. In Fundamentals and Clinical Application of Spinal Cord Monitoring, by Homma S. and Tamaki T. (Ed.), 145-154, Saikon Press, Tokyo, 1984.